

## 2 目標達成計画

作成日：平成 23年 9月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	9名利用者のうち、定期的に自宅へ帰宅できている方が3名だけになっている。馴染みの人や場への積極的支援が十分には行なわれていない。	馴染みの人や場との関係を保つことで、活気を持って生活していた頃を思い出してもらい、自信を取り戻していただく。	馴染みの人は誰で、馴染みの場所はどこなのか本人及び家族から聞き取りをする。その場所へ出向き、本人の様子から効果の確認をする。	1年間
2	10	終末期への家族の意向確認は、安定している利用者には行っていない。病状が進行し、終末期の状態になってから家族と終末期ケアについて相談している。	終末期について家族の意向確認を行ない、意向に添ったケアが提供できるようにする。	現在病状が安定している利用者も含め、入居者全員の家族から終末期をどのように考えているのか、またご本人は終末期に対してどのような考えを持っていたのか聞き取りをしながら面談の時間をもつ。	1年間
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。